



諏訪ユネスコ協会

諏訪ユネスコ通信

第 5 号

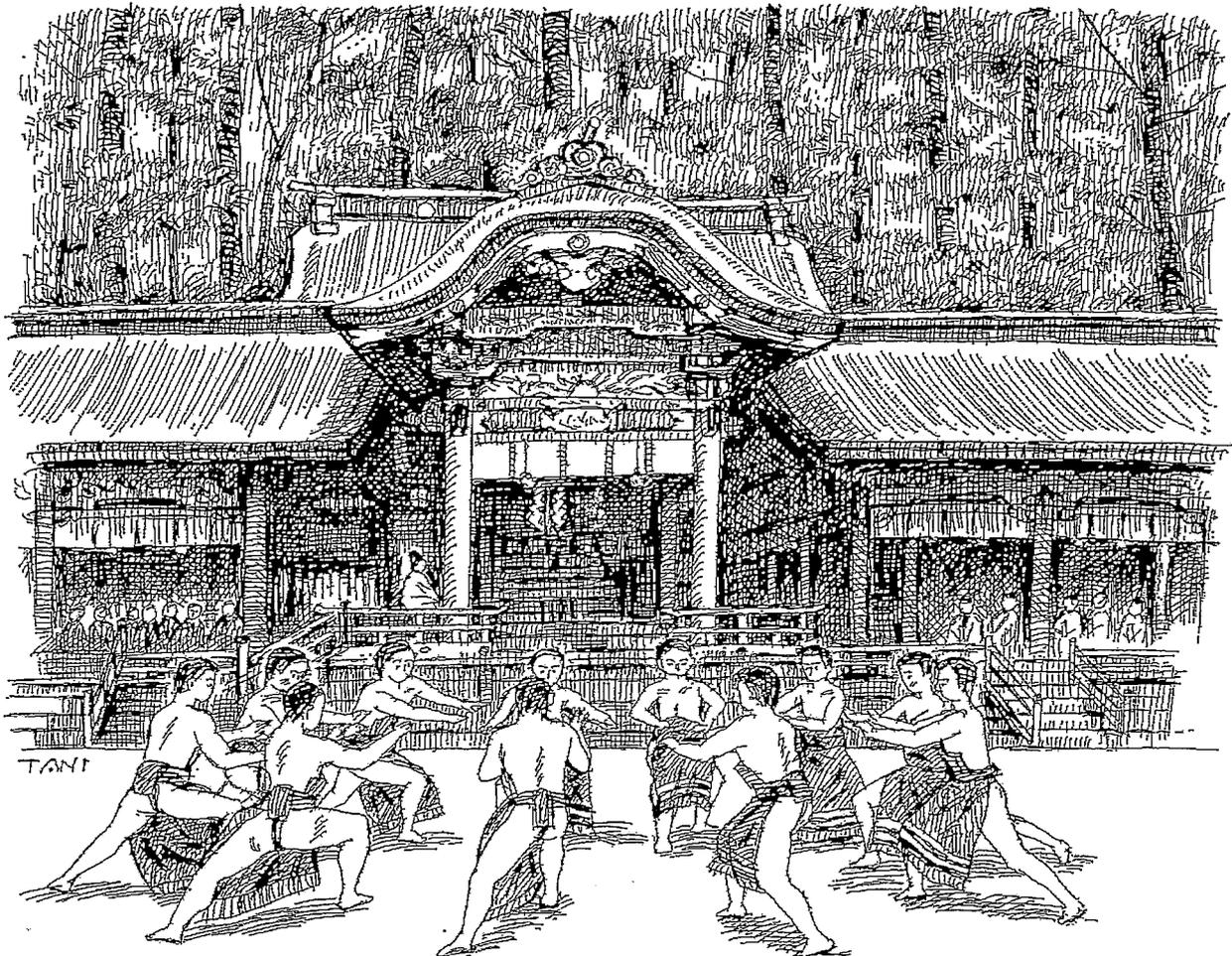
発行日

平成 24 年 10 月 30 日

発行者

諏訪ユネスコ協会

会長 原 清



諏訪大社上社奉納相撲神事 挿絵：谷澤信憲

諏訪大社上社奉納相撲神事

毎年 9 月 15 日に諏訪大社上社の土俵で行われる神事で、江戸時代に大社の“辻（土俵の意）”で神宮寺地区（諏訪市中洲、大社のお膝元）の若者たちが相撲を取っていたのが始まりだとされています。

現在残っている最古の記録は 1817 年（文化 14 年）当時、神宮寺地区で土俵を作る為のわら集めていたことなどが文書として残っています。

特筆すべきは相撲の基本「守りと攻め」を表し、力士が胸を叩く動作を取る「胸たたき」と甚句が今に伝わるのは日本でここだけだと言われています。2008 年長野県無形民俗文化財に指定されています。

東日本大震災 子ども支援に ユネスコ協会はどのように機能したか

諏訪ユネスコ協会
会長 原 清

東日本大震災直後から岩手県、宮城県、福島県に於いて教育復興を軸に、文化復興まで含めて、日本ユネスコ協会連盟はさまざまな支援活動を行いました。

私たち諏訪ユネスコ協会も「子ども支援募金」に協力しました。その支援募金はどのように活用されたか報告致しました。

[学校への支援]

震災直後から、通常の学校生活を取り戻す為、被災地の学校と教育委員会は全力で復興に取り組みました。日本ユネスコ協会連盟は学校のニーズに即応して、学習教材、備品、学校図書、移動図書館、スクールバス、学童保育所等の要請に対応致しました。その結果、岩手県 26 校 2 教育委員会、宮城県 67 校、福島県 44 校への支援を実施することができました。支援金 1 億 8802 万円

[奨学金支援]

三菱UFJフィナンシャル・グループ (MUFG) と共催で「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金 奨学金」を創設。震災で親を亡くした小学生から高校生を対象に、高校卒業まで毎月 2 万円 (一時金 10 万円) の奨学金を給付します。現在、1,233 人の奨学生を支援しています。奨学金の送金額 4 億 7958 万円。ユネスコ協会就学支援奨学金 3 億 7954 万円。また、日本ユネスコ協会連盟独自の「ユネスコ協会就学支援奨学金」を創設、親御さんの被災による経済困窮により就学が困難となった小中学生を対象に原則として 3 年間、毎月 2 万円の奨学金を給付。現在、被災地 6 自治体で 1,533 名の奨学生を支援しています。(2012 年 5 月 31 日現在)

[文化復興支援]

教育復興支援を進める中で、この地域の絆を取り戻す為文化復興支援への要望が高まりました。震災によって住民が離散し、故郷の景色も変化してしまった今、心の中に生き続ける祭りが“人々をつなぎ”復興への大切な役割を果たします。被災地に伝わる伝統的な神楽や祭りなどの復興支援 (太鼓や神楽幕、面の復元) と被災地の学校で行われる郷土芸能の支援 (衣装や道具等) を実施しています。

2012 中部東ブロックユネスコ活動研究会 I N山梨市・報告

2012年度中部東ブロックユネスコ活動研究会 I N山梨市が9月8日～9日山梨市民会館に4県（山梨、神奈川、静岡、長野）22協会と高校ユネスコ合わせて166名が参加して開催され、諏訪ユネスコ協会からは16名が参加した。



1日目は開会式に続き「富士山の世界文化遺産登録が意味するもの」をテーマに山梨県文化財保護委員会 清雲俊元氏の基調講演が行われ、平成19年1月のユネスコ世界文化遺産推薦候補として暫定リスト登録された道のりと富士山と信仰、富士山と芸術について話された。

続いて「地域活性化と世界

遺産」をテーマにコーディネーター：帝京大学院教授・萩原三雄氏 パネリスト：山梨県企画県民部世界遺産推進課長・市川満氏：一般財団法人ふじよしだ観光振興サービス常務理事・滝口明氏：株式会社エコビジョンブレインズ代表取締役・田村孝次氏によりシンポジウムが行われた。



2日目は参加団体代表者会議（中部東ブロック連絡協議会）が行われ次期ホスト（主管）協会に鎌倉ユネスコ協会が決定した。

続いて日本ユネスコ協会国内委員会の報告、第58回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール受賞者が紹介された。

続いて研究討論「本音で話そうユネスコ協会が抱える問題点」をテーマに活発な議論が行われ、各協会の抱える問題点として会員の高齢化による退会の増加、活動参加者の減少、若い人の参加者確保のむずかしさが大きな課題として話された。

また、日本ユネスコ協会連盟に対して地区協会事業活動へのバックアップへの要望もなされた。

＝諏訪湖アダプトプログラム活動報告＝

地域実践部会は第1回に引き続き、第2回を実施した。

第2回は9月13日（木）午前9時30分より会員20名が参加して実施した。

ビン・缶類は少な目だったが、相変わらずタバコの吸い殻は多かった。外来植物が目立ち、アレチウリを除去した。



回収量合計は可燃ゴミ1袋（4kg）不燃ごみ2袋（12kg）だった。

第3回は11月24日（土）午前9時からを予定している。

八島湿原・車山湿原・踊り場湿原研修会開催



地域遺産部会は9月21日(金)午前9時、八島ヶ原「あざみ館」前に20名の参加者が集合し、霧ヶ峰関係の湿原について研修会を開催した。

講師の三村宏司先生(諏訪ユネスコ会員)は日本自然保護協会自然観察指導員をされており、植物・動物・昆虫等々自然界に於いて造詣が深く、ユーモアを交えての語りに参加者皆が耳を傾け楽しく学ぶことが出来た。

八島ヶ原、車山、踊り場の3湿原は貴重な高層湿原であり国の天然記念物に指定されている。

3湿原の中で最も大きい八島ヶ原湿原は外輪山が分水嶺となっている。

泥炭の堆積速度は1年で1mm~1.5mmと言われ、この湿原が形成されるまでには約12,000年もの歳月がかかっていると話された。

「世界の高層湿原の中で学術的にも大変貴重な湿原であり“自然文化遺産”になりうる価値は十分にある」と話された。

草紅葉が湿原の中に映え、アザミ・リンドウ等の草花に秋を感じ、絶好の研修日和だった。

考察

① 八島ヶ原湿原

- ・霧ヶ峰における高層湿原の中で最も大きい湿原であり、高層湿原の形成過程がはっきり見られる湿原でもある。
- ・八島が池・鬼ヶ泉水・釜が池の3つの池がある。
- ・半分は国有地、半分は牧野組合の所有である。
- ・諏訪市と下諏訪町で半々に管理。
- ・渡り鳥の集合場所でもある。

② 車山湿原

- ・三大特徴……草原・樹叢・高層湿原
- ・3湿原中、最も幼令で低層湿原を経過せず高層湿原に移行したと推定される。
- ・3湿原中最も標高が高い(100m程)。
- ・植物相が他と違いザゼンソウ・コイワカガミの小群落が生育している。



③ 踊り場湿原

- ・高層湿原と低層湿原が併存している。

高層湿原……ミズゴケ・ヒメシャクナゲ・ツルコケモモ

低層湿原……ヌマガヤ・ホロムイスゲ

*遺産の中には是非ここの「防火帯」を入れて欲しいと再三話された。

書きそんじハガキ・キャンペーン2013

寺子屋運動部会は10月3日(水)午後6時から事務局において原会長、高林部会長、今井、鈴木副部会長ほか部員15名が出席して、日本ユネスコ協会連盟教育文化事業部が主催するキャンペーンに参加し、地域に根差した地道な運動を推進するため昨年に引き続き、諏訪地域小中学校に協力をお願いして「書きそんじハガキ」の回収運動を行うこととした。



今後の事業活動について検討して下記のように決定した。

1. 諏訪地区小中学校全生徒に配布するキャンペーンチラシの内容の検討、前年度使用したチラシの一部を修正し20,000枚を印刷する。
2. 各地区責任者はキャンペーンチラシ配布数、書きそんじハガキ回収BOX A3版ポスターの必要枚数を10月末日までに部会長に報告する。
3. 回収した「書きそんじハガキ」の切手交換は各地区の郵便局にて行う。
交換した切手の現金化は地域で協力企業を探す。
現金化する切手の種類は購入協力企業の意向を汲んで交換する。

今後の日程

10月 チラシ印刷発注

11月 部会開催・教育長宛協力依頼文書作成・訪問依頼

学校長宛依頼文作成 訪問依頼・学校別担当者・学校訪問依頼

1月 講演・解説依頼のある学校を訪問

1月末「書きそんじハガキ」回収

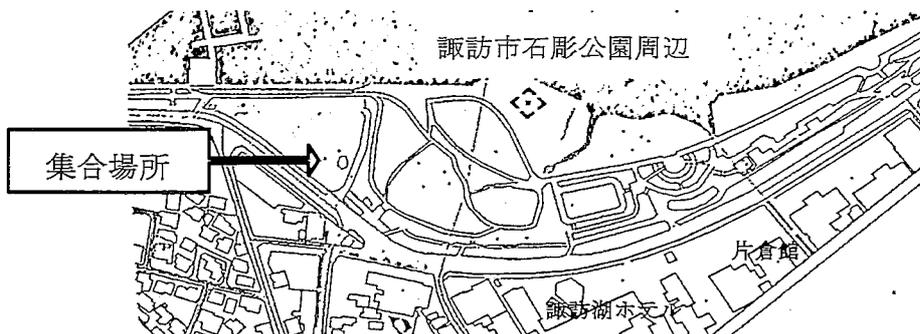
2月 切手交換、現金化、協会連盟へ現金・切手送付

諏訪湖アダプトプログラムに参加してください

日時：平成24年11月24日(土)午前9時から

場所：諏訪市石彫公園周辺

諏訪湖周辺の清掃を行います。作業のできる服装でお出かけください



第13回 理事会報告 平成24年6月26日(火) 午後6時 事務局

1. 日本ユネスコ協会連盟第63回定時総会参加報告
小口副会長、高林事務局長が参加し総会報告書が提示された。
2. 中部東ブロックユネスコ活動研究大会 IN 山梨市について
参加者の確認、16名参加、交通手段は車分乗にて、宿泊はルートイン山梨
参加費は会にて負担、交通費、宿泊、懇親会費は参加者負担とする。
3. 各部会報告
遺産部会：霧ヶ峰高原を中心とした湿原研修会を実施予定。
寺子屋運動部会：三菱アジア子ども絵葉書フェスタについて検討する。
地域実践部会：第2回アダプトプログラム実施予定
広報部会：「諏訪ユネスコ通信」第5号の発行予定

第14回 理事会報告 平成24年8月27日(月) 午後6時30分 事務局

1. 中部東ブロックユネスコ活動研究大会 IN 山梨市について
参加者の確認、車運転者と分乗者の確認、懇親会、宿泊者の確認
2. 遺産部会主催「霧ヶ峰湿原研修会」について
9月21日(金)午前9時八島ヶ原駐車場「あざみ館」前集合
三村宏司先生（長野県自然観察インストラクター、諏訪市文化財専門審議
委員）の案内により八島ヶ湿原・車山湿原・踊り場湿原を見学し地域の自然
遺産の研修をする。
3. アダプトプログラムについて
9月13日(木)午前9時30分より諏訪市湖畔石彫公園周辺の清掃を実施。
4. 年会費徴収用振込用紙完成報告

第15回 理事会報告 平成24年9月26日(水)午後7時 事務局

1. 中部東ブロックユネスコ活動研究大会 IN 山梨市報告
2. アダプトプログラムについて
9月13日第2回アダプトプログラム実施報告(参加者20名)
11月24日(土)午前9時より第3回を実施する。
3. 遺産部会主催「霧ヶ峰湿原研修会」報告
参加者20名、八島ヶ原・車山・踊り場湿原の貴重な自然遺産を見学し改
めて自然保護の大切さを実感し有意義な研修会でした。
4. 機関誌発行について
「諏訪ユネスコ通信」第5号は10月末発行予定で編集会議を実施中。
5. 寺子屋運動部会
「書きそんじハガキ」回収について諏訪地区内ロータリークラブへの協力
依頼を検討するもロータリークラブの意向とは相いれないものがあり今回
は中止する。
10月3日寺子屋運動部会を開催し今年度の「書きそんじハガキ」回収につ
いて検討する。